

さくらタイムス令和6年12月号

2024年が終わろうとしています。今年がとりわけ早かったように感じているのは、年明けから「保育をさらに充実・発展させる」と決意し、新たな体操指導、給食のアップグレード、より良い設定保育の徹底など、職員一丸となって取り組み、子ども達も素直に一緒に「走って」きたからだと思っています。結果は見事に子ども達に現れており、れんげ組はよりはっきりときれいに歌い、よく考えて大人と対等に話せる子どもも多くなり、運動会ではこれまでにない感動をもたらしてくれました。たんぽぽ組も絵本読みや紙芝居の集中がよくなり、言葉や身体の動きも例年より早くなっています。すみれ組はまだ新人さんが多いのですが、それでも集団の動きに慣れて毎日の「さくら生活」を楽しみ始めています。

11月には、創始者の名誉園長朝子が逝きました。まだどう表現すればいいかわからないのですが、皆様の暖かいお気持ち・お心遣いのおかげで本当に素敵な見送りをさせていただくことができました。心より御礼申し上げます。

のこり四週間を体調に気をつけて、無事に1年を締めくくれるよう皆で努めてまいります。ご相談などいつでもうかがいます。どうぞよろしく願いいたします。

園長 山内 香幸